

「東京高円寺阿波おどり・参加体験記」

名寄高等学校新聞局 2年 高橋 鈴音 2年 吉野 吏南



こんにちは！名寄高校新聞局です。今回は去る8月26日(土)、27日(日)の2日間にわたり、東京都杉並区・高円寺で行われた「東京高円寺阿波おどり大会」に名寄市風舞連町の「風舞連」の皆さんとともに参加した体験記をお伝えします。

高円寺阿波おどり大会は、昭和32年8月、現在の高円寺パル商店街振興組合の青年部誕生の記念行事として始まりました。風舞連は、平成4年に旧風連町で結成された阿波おどり連です。旧風連町は古くから東京都杉並区と交流を持っており、長年、阿波おどり大会にも参加しています。

今回の大会で風舞連は、名寄市以外にも杉並区と交流がある自治体(群馬県東吾妻町、東京都青梅市、静岡県南伊豆町)との連合チーム「杉並区交流自治体～結～」として大会に参加しました。

大会に参加した名高新聞局の吉野吏南局員(2年)は「練習から他の連の方たちの演舞や音の迫力がすごく、緊張が倍になったまま本番を迎えたが、風舞連の方たちに声をかけていただき落ち着くことができた。沿道の観客の人数が多く、歓声がどこまでも聞こえるような会場だった。練習の倍以上の時間を踊っていたので、足と腕が上がらないくらいになった。参加団体にはプロのような連や毎年出場している連、古い歴史を持っている連が多く、見ても退屈しなかった。支えてくださった風舞連、市役所の方たちのおかげで最後までやることができ、自分にとって大きな成長になった」と振り返りました。

市民の皆さんも、ぜひ来年の大会に参加してみたいはいかがでしょうか。

きっとやみつきになるはずですよ！

今年の開催予定日は8月24日(土)、25日(日)です！

風舞連への問い合わせ 高山 恵理 ☎090-9523-5027

問い合わせ

交流推進課(風連庁舎1階)

☎01655③2511(内線2361)

COLUMN*

[VOL.69]

なよろっぽい家づくりの会



新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

なよろっぽい家づくりの会は「非営利の会」として、22年前(2002年)に市内の工務店・建築会社が集って創った会です。

その目的は次の2つです。

- ①市内建築会社による「快適な住まい」を広く普及する。
- ②市内建築会社の受注を多くして、名寄市経済の振興に役立つ。

市内では、年間約50戸の個人専用住宅が新築されていますが、市外ハウスメーカーも多く受注しています。

新築には大きな資金を要します。市内の建築会社がより多く受注すれば市内でその資金が循環して、名寄市経済の振興に役立ちます。

なよろっぽい家づくりの会では、市内建築会社の受注が進むよう広報に努めております。

地球温暖化の防止のため、ゼロカーボン(脱炭素社会)への取り組みが進められており、国は2050年までにその実現を目指しています。

名寄市も2年前(令和3年11月)に「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

温室効果ガスの約9割がCO₂(二酸化炭素)とされ、森林はCO₂の吸収源として大きな役割を果たしています。

北海道は森林が豊富で、名寄市では面積の約6割が森林です。

地元の森林から産出される地域材を積極的に利用することで「ゼロカーボン化が進み地産地消による循環型社会の地域づくりを目指すことが出来る」とされています。

なよろっぽい家づくりの会は、地域材を用いた家づくりを勧めております。

また、名寄市は地域材を用いて改修工事を実施した場合、その費用の一部を助成しています。(名寄市ずっと住まいる応援事業)

地域材の利用については是非ご理解いただき、そして新築・リフォームについては、なよろっぽい家づくりの会や他の市内建築会社にご相談ください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

会長 松尾 薫

■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)

☎01654⑨6711